

体験して学ぼう！

金融・経済・起業

Financial Quest

金融クエスト



起業で社会的課題を解決しよう！

投資・起業を学ぼう

教授用手引書

●概要

社会的課題を解決する起業体験を通じて、企業の意義と役割、事業を行うための資金調達、投資の意義について学びます。また起業による課題解決とSDGsを関連させて学びます。

●ねらい(目的)

社会を支える企業の意義と役割、資金調達について理解すること。



使用教材

生徒用テキスト	動画	社会的課題カード (12種類)	10万円券
 <p>※紙媒体の場合1人1冊 ※WEBサイトにPDF有</p>	 <p>※WEBにて視聴可能</p>	 <p>(WEBワーク) 社会的課題カードを めくろう</p>	 <p>※WEBで授業を行う場合は 事前に「10万円券.pdf」を 人数分印刷</p>

生徒用WEBサイト

<https://www.j-flec.go.jp/quest/student/01es/>



動画内容

▶ 動画① はじめに(4分)

- ・ 企業(会社)は利益を目的として活動しているが、社会的責任を果たす役割もある。
- ・ 会社の提供するモノやサービスにより私たちの暮らしが豊かで便利になる。
- ・ 会社がモノやサービスを提供するために資金を集める(資金調達)必要がある。
- ・ 「間接金融」と「直接金融」のしくみ

▶ 動画② ワーク①説明 社会的課題を解決する株式会社をつくろう!(2分)

- ・ ワーク「社会的課題を解決する株式会社をつくろう!」の進め方を説明する。
- ・ 社会的課題を解決する株式会社をつくる。
- ・ 投資家(ほかの生徒)に応援(投資)してもらえそうな魅力的な起業プランを考える。

▶ 動画③ まとめ(1分)



- ・ 起業することによって社会的課題を解決できる可能性がある。
- ・ 投資を通じて社会的課題を一緒に解決できる可能性がある。

学習の展開

	授業の流れ	活動	指導のポイント
導入 10分	ポイント説明 動画①を視聴(4分) 生徒用テキスト:P.1,2	・動画の視聴 	・会社(企業)は利益を得るだけでなく、社会的責任を果たす必要があることを伝える
展開 25分	ワーク説明 動画②を視聴(2分) 生徒用テキスト:P.3,4	・動画の視聴 	
	グループワーク ※社会的課題カードを使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は4人程度のグループ(班)に分かれて、これから会社をつくろうとする起業家として3つの社会的課題グループの中から、1つを選択する。 ・先生は各グループ(班)に、各グループ(班)が選択した社会的課題のカードを渡す(裏面を見せて選ばせない)。 ・社会的課題カードの裏面には、起業プランが記載されているため、各グループ(班)はその内容を確認する。 <p><WEBワーク> 社会的課題カードをめくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ(班)で選択した社会的課題カードをクリック。 ※4枚ある社会的課題カードのうちいずれか1つを選択しクリックすると起業プランが表示される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題カードを配布する際は、グループ(班)ごとに異なる課題を受け持つように、起業プラン(課題)がかぶらないように調節する ・時間に余裕がある場合は裏面の起業プランを見せて、生徒たち自身(グループ(班))に選ばせても良いが、その場合も起業プランがかぶらないように調節する <p><WEBワーク> 社会的課題カードをめくろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業プラン(課題)がかぶらないように、社会的課題カードに付されている項番(例:A-1、A-2等)を分けて選択させる
	グループワーク 生徒用テキスト:P.5 ※ワークシート①を使用	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループ(班)は自分たちの起業プラン、解決できる社会的課題などをワークシート①に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・起業プランに付け加えるアイデアがあればワークシート①に記載するよう伝える ・時間に余裕があればグループ名は会社名として考えても良い ・時間に余裕があれば起業プランはカードに記載されていない独自のプランでも良い

★カスタマイズでの授業Point!

- ・社会的課題を解決する起業プランがSDGsのどの課題解決につながるか考えさせても良い。
- ・ここまでの活動で1時間とし、以下の活動を2時間目として展開することも可能。

	授業の流れ	活動	指導のポイント
	<p>グループワーク 生徒用テキスト:P.5,6 ※ワークシート②を使用。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ(班)ごとにクラス全員の前で発表。クラスみんなに投資をお願いするためのプレゼンテーションをする。 ・発表を聞く生徒は、発表内容をワークシート②に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表では、投資家(クラス全員)に自分たちの会社の取り組みをアピールするように伝える ・発表時間を決め、時間内に簡潔に伝えるよう促す ・発表を聞く生徒には、一人ひとりが投資家として、どこに投資をするか考えながら発表を聞くように伝える ・時間に余裕があれば発表に対して、質疑応答を行っても良い
展開 10分	<p>個人ワーク 生徒用テキスト:P.5,6 ※10万円券を使用。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒はワークシート①の下にある10万円券2枚を切り取り、自分達以外に、応援したい会社に投資する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応援したいと考えるグループ(班)に投票するよう促す ・時間に余裕があれば、10万円券の裏にある投資したい理由を記載させる <p>※WEBで授業を行う場合は事前に「10万円券.pdf」を人数分印刷</p>
	<p>グループワーク 生徒用テキスト:P.6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ(班)ごとに集めた資金総額を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最も多く集まったグループ(班)に投票した生徒に、どういった点がよかったかを発表させても良い
まとめ 5分	<p>まとめ 動画③を視聴(1分) 生徒用テキスト:P.7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動画の視聴 	
	<p>個人ワーク 生徒用テキスト:P.8,9 ※ワークシート③を使用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート③に記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の役割や社会的責任、投資の意義についての知識の定着を確認する

ワークシート③の解答

P8 1. (上から) **資金(投資)、モノ・サービス、賃金**
 2. **社会的責任(CSR)**

P9 3. (私たちの暮らしにとっては?)

- ・ **会社の事業活動によりモノやサービスが提供され、社会や暮らしが便利に豊かになる**
- ・ **会社が成長していけば、投資により利益が得られ、資産形成につながる など**

(会社にとっては?)

- ・ **集めた資金で事業を拡大することができる**
- ・ **集めた資金で事業を行い利益を得ることができる など**

参考：起業プランとSDGsターゲットの関連

本教材の社会課題を解決する起業プランは、SDGsのゴール・ターゲットに結び付けて考えることができます。生徒に自分たちが選択した起業プランがSDGsの何のゴール・ターゲットに結び付くかを考えさせても良いかもしれません。

社会的課題	起業プラン	具体的な事業案・期待される効果の例
<p>A</p>  <p>日本の課題、環境保全、持続可能なエネルギー ●環境保全に貢献します。 ●自然エネルギーの活用を推進します。</p>	 <p>A-1 環境にやさしい パッケージを利用して お菓子の製造・販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックを使わないコンポスト素材(土に還る素材)のパッケージを利用する。 ・プラスチックパッケージを利用しないことで、深刻な環境問題となっている海洋プラスチックごみの削減に寄与できる。 <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。</p> <p>14. 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源で、今後も持続可能になるように開発や保全を行い持続可能な形で利用する 14.1 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。</p>
	 <p>A-2 少ない水でも 植物が育つ肥料や 土の開発・販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・砂漠化を防止し緑を増やすことで温暖化や洪水など自然災害の防止にもつながる。 ・植物が育ちにくい土地でも農作物を育てることができ、食糧問題の解決にも寄与できる。 <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p>2. 飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する 2.4 2030年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壌の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱(レジリエント)な農業を実践する。</p> <p>15. 陸の豊かさを守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る 15.3 2030年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。</p>
	 <p>A-3 生ごみから 家庭用発電機器の 製造・販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー(バイオマス)の利用により有限な化石燃料資源を削減する。 ・ごみを減らすことにより収集・処理のコスト削減や焼却エネルギーが不要となる。 <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手軽に利用され、持続可能、かつ信頼される近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。 7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。</p> <p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。</p>
	 <p>A-4 地域の 自然エネルギー事業の 展開・販売 (風力・地熱・波力等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・風力・地熱・太陽光など、その地域にあった再生可能エネルギーの導入を支援し、サービスする。 ・エネルギー問題の解決に寄与するとともに、自然環境保全にもつながる <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手軽に利用され、持続可能、かつ信頼される近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。 7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。</p> <p>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る。 9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。</p>

社会的課題	起業プラン	具体的な事業案・期待される効果の例
<p>B</p>  <p>社会的課題「地域活性化」「防災・安全対策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化に貢献します。 ・防災・安全対策に貢献します。 	<p>B-1</p> <p>地域の特産物を生かして レストランや物品販売の 店舗展開</p> <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p>8 働きがいも経済成長も 8. 働きがいも経済成長も</p> <p>12 つくる責任 つかう責任 12. つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消をすすめることで、地域生産力の増加も見込める。 ・開発するメニューや商品に特徴を出せば、地域への集客に繋がり、消費も増加、地域の活性化に寄与することができる。 <p>8. 働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する 8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。</p> <p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する 12.5 2030年までに、廃棄物の発生の防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。</p>
	<p>B-2</p> <p>外国人向け日本文化・ 和食 体験ツアーの提供</p> <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p>8 働きがいも経済成長も 8. 働きがいも経済成長も</p> <p>12 つくる責任 つかう責任 12. つくる責任 つかう責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方の民家に宿泊し、日本の文化や世界文化遺産の和食を知ってもらう。 ・日本の良さを体験する事ができ、地域への集客や創生にもつながる。 ・食べるだけでなく、農作物や水産物の収穫などを体験することで、人手不足の農業や水産業の生産者を救うことにもつながる。 <p>8. 働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する 8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。</p> <p>12. つくる責任 つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する 12.5 2030年までに、廃棄物の発生の防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。</p>
	<p>B-3</p> <p>災害時に対応した 発電可能な自動車の 開発・販売</p> <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを 11. 住み続けられるまちづくりを</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を 13. 気候変動に具体的な対策を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・停電時でもインターネットや通話ができるように携帯端末の基地局になる自動車を開発する。 ・太陽光発電や風力発電を導入。電気自動車を蓄電池として利用し、停電時には電気を供給することもできる。 ・非常時に電気が使えない時でも発電ができ、電化製品なども利用できることで、防災対策として社会に貢献できる。 <p>11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする 11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、「仙台防災枠組2015-2030」に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。</p> <p>13. 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る 3.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。</p>
	<p>B-4</p> <p>非常時にも利用可能な 通信技術の開発・提供</p> <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを 11. 住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時は停電などの可能性からWebサービスの利用ができなくなったりする場合があるので、安全対策として社会に貢献できる。 ・緊急時の連絡掲示板や募金システムなどを提供するなど、社会貢献性の高いサービスを想定する。 <p>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る。 9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。</p> <p>11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする 11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、「仙台防災枠組2015-2030」に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。</p>

社会的課題		起業プラン	具体的な事業案・期待される効果の例
<p style="text-align: center;">C</p> 		<p style="text-align: center;">C-1</p> <p style="text-align: center;">食品の宅配、 移動販売サービス事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の食事などを高齢者家庭に配達したり、最寄りの指定場所で移動販売したりすることで、高齢者支援の課題解決に寄与する。 ・移動販売によるコミュニケーション機会の提供や、高齢者の日々の生活を見守るサービスも提供。 <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p> 3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する 3.8 全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する。</p> <p> 11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする 11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ(レジリエンス)を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、「仙台防災枠組2015-2030」に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。</p>
		<p style="text-align: center;">C-2</p> <p style="text-align: center;">高齢者専門の 人材派遣サービスの 提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気で働く意欲もある高齢者と、熟練の働き手が欲しい会社をつなげる。 ・日本の「生産労働人口の減少」と「高齢者の生活支援」の課題解決に寄与できる。 <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p> 8. 働きがいも経済成長も すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する 8.9 2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。</p> <p> 10. 人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の格差を是正する 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。</p>
		<p style="text-align: center;">C-3</p> <p style="text-align: center;">介護施設などに向けた イベント企画会社</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の幼稚園や保育園の子供たちとの交流会を企画。 ・世代間の地域交流に繋がり、高齢者の介護支援の課題解決に寄与できる。 ・介護施設の職員だけでなく、外部の人の企画でコミュニケーションが広がり高齢者の生活に変化をもたらす。 <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p> 3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する 3.8 全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する。</p> <p> 11. 住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする 11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ(レジリエンス)を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、「仙台防災枠組2015-2030」に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。</p>
		<p style="text-align: center;">C-4</p> <p style="text-align: center;">AIによる 問診・診断の アプリ開発と販売</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療へのアクセスが限定的な地域でもすばやい診断が受けられ、医療サービスの提供が滞らないので、社会に貢献ができる。 ・手軽に体調をチェックすることができ、健康維持に寄与できる。 ・医者不足の解消の一助を担える。 <p>関連するSDGsの目標とターゲット</p> <p> 3. すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する 3.8 全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する。</p> <p> 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る。 9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。</p>

教授用手引書

2021年4月 発行

2023年3月 改訂

2024年8月 改訂

制作 金融経済教育推進機構

発行 株式会社 清水書院

発行者の許可なしに本テキストの内容の全部または一部を無断で複写、複製または転載することを固く禁じます。なお、これらの承諾については、金融経済教育推進機構まで、お問い合わせください。

体験型教材「金融クエスト」の紹介

「金融クエスト」シリーズでは、経済や金融に関する内容を、グループワークなどを通じて体験的に学ぶことができます。5つの教材はそれぞれ分けて学ぶことができますようになっています。

① 起業で社会的課題を解決しよう!

「投資・起業を学ぼう」

② チャレンジ大航海!

「間接金融と直接金融のしくみを学ぼう」

③ レジャーランドの経営を立て直そう!

「株式会社のしくみを学ぼう」

④ あなたの会社はどうなる?

「社会の変化と会社への影響を学ぼう」

⑤ 将来のために資金を運用しよう!

「資産形成と金融商品の特徴を学ぼう」